15インチ TFT液晶ディスプレイ

LCD-ADF15R

取扱説明書

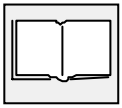
44505-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が［ご注意］の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Macは、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書をお読みになるにあたって

● 呼び方

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows98	Microsoft® Windows®98 Operating System
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows98/95	Windows98およびWindows95の総称
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.51

本書をお読みになるにあたって i
目次 ii

特徴 1
箱の中には 3
動作環境 5
ユーザー登録する 6
各部の名称と機能 7
取り扱い及び使用上の注意 11
実行用ディスクを作る 13

パソコンに接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

接続する 16
・本製品をパソコンに接続する 16
・本製品にＵＳＢ機器を接続する場合 19
・本製品にオーディオ出力機器を接続する場合 21
接続した後は・・・ 22

Windows98/95でのインストール・・・・・・・・・23

ステップ1：Windows98/95でのインストール 24
・Windows98の場合 25
・Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合 29
・Windows95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 32
ステップ2：インストール状態の確認 35

調整する場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

ステップ1：基本操作 38
・設定するボタン 38
・設定の基本操作 39
ステップ2：設定項目の詳細 42
・メインメニュー 42
・サブメニュー：カラー・明るさの設定 44
・サブメニュー：スケール・センタリング・
シャープネスの設定 46
・サブメニュー：メニュー画面自体および
その他の設定 48

付録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

困った時には 51
用語解説 53
ハードウェア仕様 56

サポートセンターへのお問い合わせ 60
サポートソフトのバージョンアップ 61
保証について 62
修理について 63

特 徴

本製品は、以下のような特徴を持っています。

● アナログRGB、デジタル入力の2系統入力

● 高画質、高視野角

コントラスト比300：1、輝度250cd/㎡、応答速度25msと最高水準の液晶パネルを採用。
静止画、文字表示はもちろん、動画表示においても威力を発揮します。
さらに上下、左右160°の広視野角を実現しており、あらゆるシーンで高パフォーマンスを発揮します。

● デジタルインターフェイス（DFP準拠）

弊社製GA-SV4シリーズ、NEC製PC98-NXシリーズ、富士通社製FMVシリーズなどで採用されているデジタルインターフェイス規格。
ビデオメモリのデジタル画素データを、D/A及びA/Dコンバータを通さず、
デジタル方式で伝達し、ディスプレイ表示しますので、データの劣化がありません。
拡大表示時でもスムージング処理による高画質です。
さらに、アナログ液晶ディスプレイのようにクロックフェーズの調整は不要です。

● 省スペース

CRTディスプレイに比べ、わずかなスペースしかとりません。限られたスペースを有効に活用できます。

● 15型の大画面(CRTディスプレイ17型相当)

XGA(1024x768)対応の高解像度で表示できます。

● 低消費電力(最大47W)

同等画面サイズのCRTディスプレイに比べ消費電力が少なく、
発熱量もはるかに少なくなっています。

● DPMS (Display Power Management Signaling) に対応

Windows98/95の［画面のプロパティ］で設定することにより、パソコンを使用して
いない時の液晶ディスプレイの消費電力を抑えます。

《［画面のプロパティ］の設定方法》

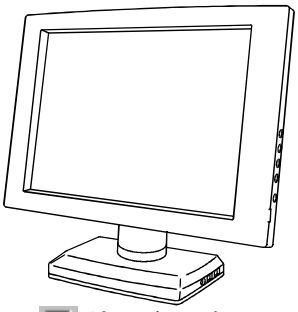
① デスクトップ上で右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。
② Windows98の場合
［設定］タブ→［詳細］ボタン→［モニタ］タブの順にクリックします。
Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合
［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンの順にクリックします。
Windows95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合
［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタン→［モニター］タブの順にクリックします。
③「省電力モニタ」をチェックします。
④［OK］ボタンをクリックします。
⑤［スクリーンセーバー］タブをクリックします。
⑥「ディスプレイの省電力機能」を設定します。
⑦［OK］ボタンをクリックします。

● 自動調整機能を搭載

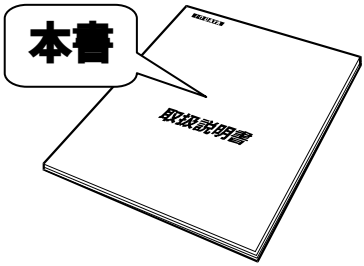
画像調整を簡単にできる自動調整機能を搭載しています。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。

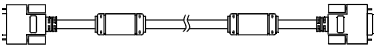


□ 液晶ディスプレイ
［本製品］

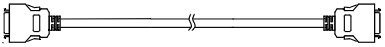


☑ LCD-ADF15R取扱説明書

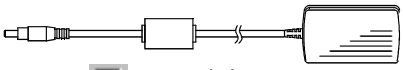
＜付属のケーブル類＞



□ 接続ケーブル
（アナログ出力接続用：1.5m）

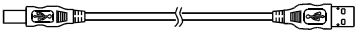


□ 接続ケーブル
（デジタル出力接続用：3m）



□ ACアダプタ(1.9m)

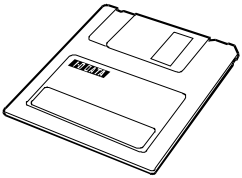
□ ACケーブル(2m)



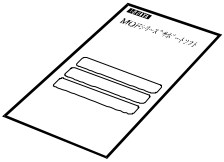
□ USBケーブル(1m)

□ オーディオケーブル（1.5m）

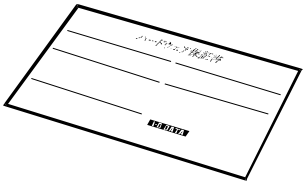
(その他)



☐ LCD-ADF15Rサポートソフト
(Windows98/95用)
[3.5インチ2HD (1.44MB)]

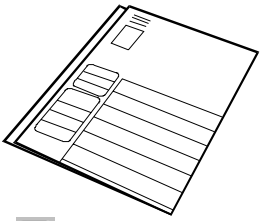


☐ Verシール

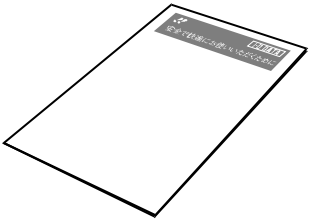


☐ ハードウェア保証書

☐ ハードウェアシリアルNo.シール



☐ ユーザー登録カード



☐『安全で快適にお使いいただく
ために』

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い:箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

動作環境

●対応機種

・デジタルディスプレイ出力（DFP準拠）搭載の以下の機種

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン※

・アナログRGB出力搭載の以下の機種

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン※

PC-9821シリーズ

Power Macintoshシリーズ

※ 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

ユーザー登録する

弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。
お買い上げいただいた製品ごとに以下のいずれかの方法で必ず登録を行ってください。

● オンラインによる登録（インターネット http://www.iodata.co.jp/）

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品の当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

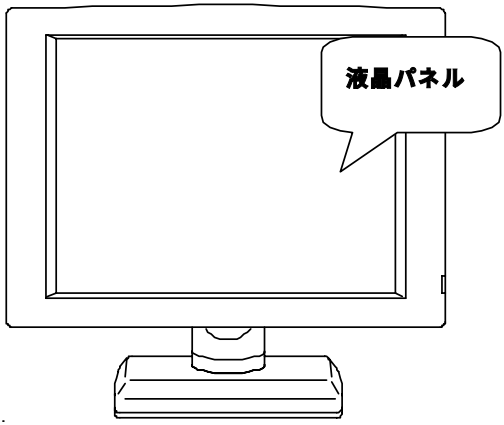
● ハガキによる登録

1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。
2)添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。
3)ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

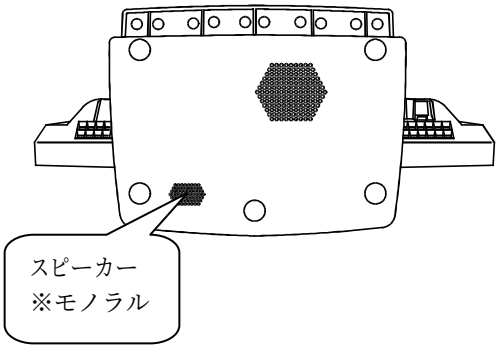
ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

各部の名称と機能

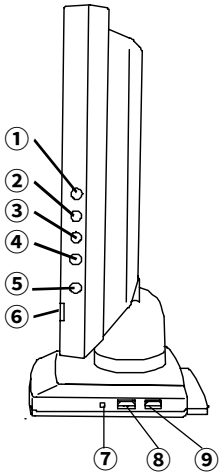
● 正面



● 底面



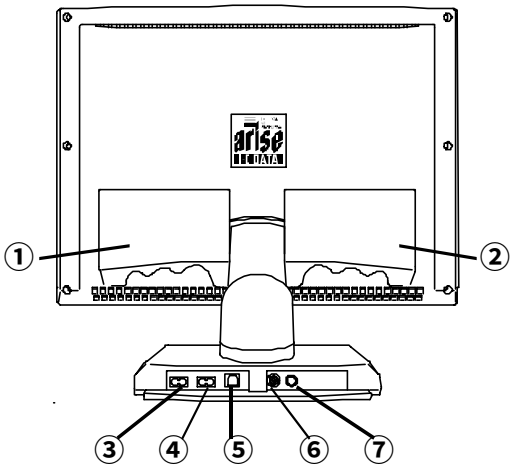
●側面



No.	項目	機能
①	アナログ/デジタル切替ボタン	本製品に「デジタルディスプレイ出力」と「アナログRGB出力」を同時に接続していた場合の切替を行います。
②	アップボタン (UP)	本製品の設定時に使用します。 設定メニュー上では、選択している項目の上の項目に移動します。 設定値の設定バー表示中は、数値を増加させます。 設定メニューが表示されていない場合は、設定メニューのボリューム項目に移動します。 (設定の詳細は、[調整する場合] (P37)参照)
③	ダウンボタン (DOWN)	本製品の設定時に使用します。 設定メニュー上では、選択している項目の下の項目に移動します。 設定値の設定バー表示中は、数値を減少させます。 設定メニューが表示されていない場合は、設定メニューのボリューム項目に移動します。 (設定の詳細は、[調整する場合] (P37)参照)

No.	項目	機能
④	セレクトボタン (SELECT)	設定メニュー上では、選択している項目を決定します。 設定値の設定バー表示中は、数値を決定します。 このボタンで設定メニューを表示させます。 (設定の詳細は、[調整する場合] (P37)参照)
⑤	電源スイッチ	電源のON/OFFを切り替えます。
⑥	電源ランプ	電源がONになると緑色に点灯します。 信号がきていない場合は、赤色となります。 電源がOFFの場合は、消えています。
⑦	PHONE OUT	音声出力用です。(ステレオ出力) ヘッドフォン、スピーカー等を接続します。
⑧ ⑨	ダウンストリーム ポート	本製品とUSB機器を接続するポートです。 USBケーブルで接続します。

●背面



No.	項目	内容
①	デジタルコネクタ用カバー	デジタルディスプレイ出力との接続用コネクタのカバーです。
②	アナログコネクタ用カバー	アナログRGB出力との接続用コネクタのカバーです。
③	ダウンストリームポート	本製品とＵＳＢ機器を接続するポートです。
④		ＵＳＢケーブルで接続します。
⑤	アップストリームポート	本製品とパソコンのＵＳＢポートを接続するポートです。ＵＳＢケーブルで接続します。
⑥	LINE IN	音声入力用です。 本製品とパソコンやサウンドカードなどの LINE OUTを接続するコネクタです。
⑦	電源コネクタ	付属のＡＣアダプタを接続するコネクタです。

取り扱い及び使用上の注意

- 液晶パネルの表示面から、漏れた液体（液晶）には触れないでください。
  誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。
  また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。
- 液晶パネルの表示面を割った場合、割れたガラスに充分注意してください。ガラスの破片などで手を切るおそれがあります。
  表示面は、ガラス板状にプラスチックフィルムを貼り付け、ガラスが飛散しにくい構造となっておりますが、切断面に触れますと怪我をすることがあります。
- 本製品内のバックライトの中には水銀が含まれています。
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。
  ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
- 本製品は屋外で使用できる構造にはなっていないので、屋外で使用しないでください。長時間日のあたる場所、ストーブの前など極端に温度の変わる場所には設置しないでください。振動のある場所には設置しないでください。
- 落下などのような強い衝撃を与えないでください。表示面のガラスや内部のFL管を破損させたり、故障の原因となります。
- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭くか、拭く前に軽く息を表示面に吹きかけてから拭き取ってください。
  それでもとれない場合は、石油ベンジンを軽く含ませた脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。このとき石油ベンジンがケースなど表示面以外につかないように注意してください。
  ケースや液晶モジュール内部はこの種の溶剤によって損傷することがあります。

- **表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。**
- **表示面に水滴などをつけて放置しないでください。**
  水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。
  また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。
- **工具などの固いものを当てたり、押したり、こすったりしないでください。また、表示面に工具などの重いものを乗せないでください。**
  表示面に使用している偏光板は傷つき易く、表示面にキズやあとがついたり、破損する恐れがあります。
- **液晶ディスプレイに表示中、表示面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.99%以上の有効画素と0.01%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。予めご了承ください。**
- **本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体及び周辺機器の電源を切ってから行ってください。**
- **本製品の点検･修理は弊社修理センターにご依頼ください。送付先は巻末を参照してください。**

バックライトについての注意

本製品に使用しているバックライトには寿命 (約25000時間) があります。

- **画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットへの交換が必要です。**
  ※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
- **バックライトは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。**

1)液晶パネルは非常に高価です。有償による液晶パネルの交換は高額になることを予めご了承ください。
2)バックライトの寿命は目安です。多少異なることもございますので、予めご了承ください。

実行用ディスクをつくる

本製品に添付されているサポートソフトは、Windows98/95をご使用の方のみ必要です。Windows98/95をご使用の方は、必ず以下の方法でバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
(以下の例は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合です。)

1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。

空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44MB」を用意します。

2 サポートソフトを書き込み禁止にします。

3 ディスクのコピーを行います。

「マイ コンピュータ」の「3.5インチ FD」を右クリックし「ディスクのコピー」を選択します。

4 メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ 替えながら、バックアップを取ります。

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。
必ず本手順を行い、サポートソフトは大切に保管しましょう。

MEMO

パソコンに接続する

ここでは本製品をパソコンに接続する方法について説明します。

接続する(P16)

本製品をパソコンに接続します。

↓

接続した後は・・・(P22)

接続後、Windows98/95で使用する場合は、【Windows98/95でのインストール】(P23)へお進みください。
調整を行う場合は、【調整する場合】(P37)へお進みください。

接続する

ここでは、本製品をパソコンに接続する手順について説明しています。

本製品をパソコンに接続する

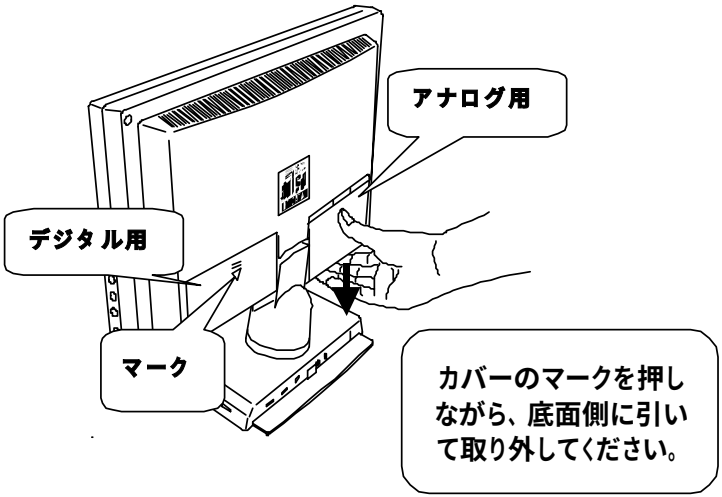
1 パソコン本体の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

本製品とパソコンを接続する際は、必ずパソコン本体の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

2 本製品のコネクタ用カバーを取り外します。

本製品には、アナログ用とデジタル用のコネクタおよびカバーがあります。接続する方のカバーを取り外してください。

※ 両方のコネクタに接続することもできます。

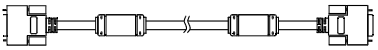


3 ACケーブルとACアダプタを接続します。

4 本製品にACアダプタのコネクタを接続します。

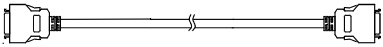
5 本製品に接続ケーブルを接続します。接続後、カバーを閉じてください。

パソコンの「アナログRGB出力」と接続する場合は、アナログ用接続ケーブルで本製品のアナログ用コネクタに接続してください。



(アナログ用)

パソコンの「デジタルディスプレイ出力」と接続する場合は、デジタル用接続ケーブルで本製品のデジタル用コネクタに接続してください。



(デジタル用)

ACアダプタおよびケーブルは必ず付属のものを使用してください。
また、接続ケーブルおよび電源ケーブルは引っ張らないでください。
液晶ディスプレイ本体内の接続部には精密加工を施しており、接続ケーブル及び電源ケーブルが強く引っ張られると故障の原因となります。
また、ディスプレイ本体が倒れ液晶パネル部を損傷し、最悪の場合液晶パネルが割れる恐れがあります。

6 接続ケーブルをディスプレイ出力に接続します。

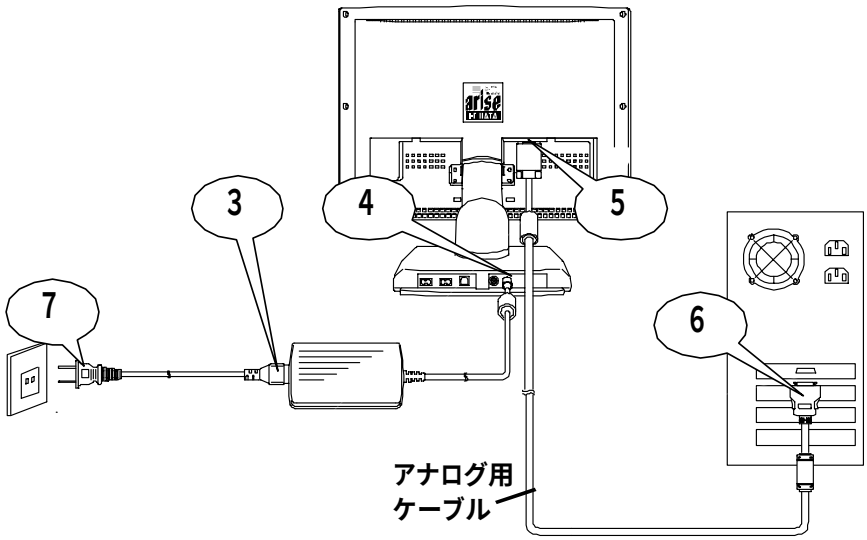
パソコンやグラフィックボードのディスプレイ出力に接続ケーブルのもう片方のコネクタを接続します。

Power Macintoshのモニタポートが DB-15型コネクタの場合は、別途市販のMacintosh専用変換コネクタ（D-sub 15ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔専用D-sub 15ﾋﾟﾝ(ｵｽ)）が必要になります。

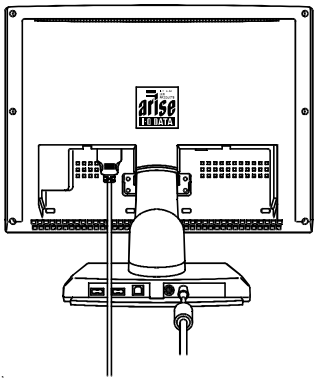
7 ACケーブルを電源コネクタに接続します。

8 パソコンの電源ケーブルを元に戻します。

（パソコンの「アナログRGB出力」と接続する場合の例）

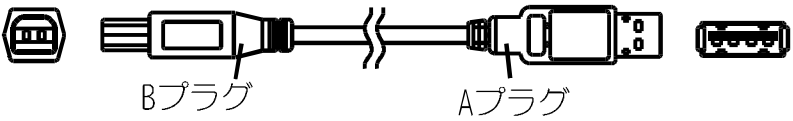


（パソコンの「デジタルディスプレイ出力」と接続する場合）



本製品にＵＳＢ機器を接続する場合

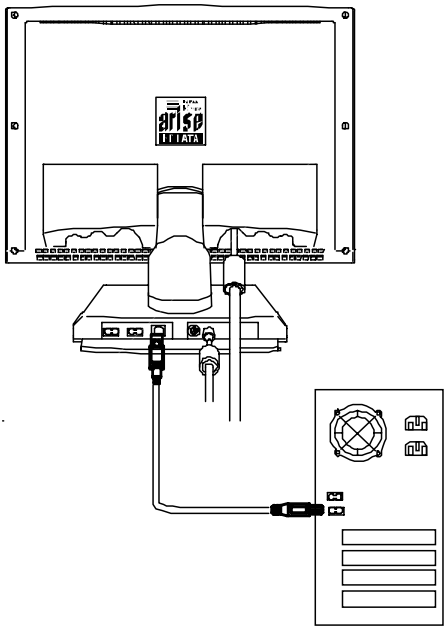
● 付属のUSBケーブル



Bプラグ	本製品の「アップストリームポート」に接続する側のプラグです。
Aプラグ	パソコン本体（またはUSBインターフェイス）のUSBポートに接続する側のプラグです。

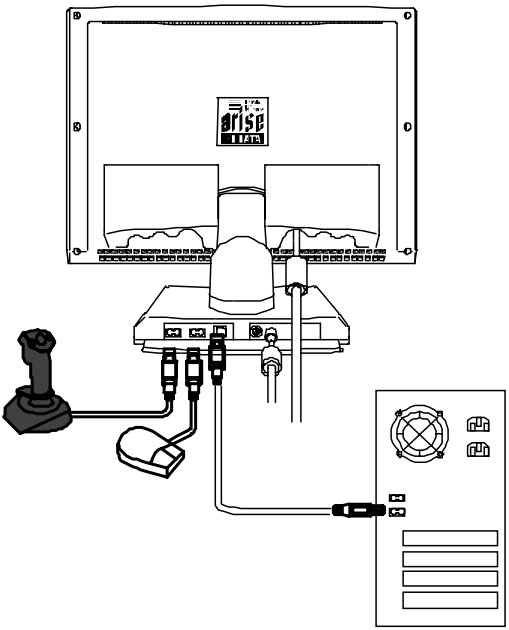
1 本製品とパソコンを付属のＵＳＢケーブルで接続します。

本製品の「アップストリームポート」とパソコンのＵＳＢポートを接続します。



2 本製品にＵＳＢ機器を接続します。

本製品の「ダウンストリームポート」にＵＳＢ機器を接続してください。ケーブルはUSB機器に付属または市販のUSBケーブルを使用してください。



本製品にオーディオ出力機器を接続する場合

1 **本製品とパソコンを付属のオーディオケーブルで接続します。**

本製品背面の「LINE IN」とパソコンまたはサウンドカードの「LINE OUT」を接続します。

2 **パソコンの音声出力を聞く場合は以下の2通りがあります。**

① 本製品底面のスピーカーで聞く

② 本製品の「PHONE OUT」にヘッドフォンやスピーカーを接続して聞く

接続した後は・・・

接続後、本製品およびパソコンの電源をＯＮにすれば使用できます。

「アナログRGB出力」および「デジタルディスプレイ出力」の両方を接続している場合は、本製品側面の「アナログ/デジタル切替」ボタンで切り替えられます。

Windows98/95でお使いの場合

【解像度を変更する場合】(P23)を参照してください。

輝度やカラー等の各種調整を行う場合

【調整する場合】(P37)を参照してください。

Windows98/95 でのインストール

ステップ1

Windows98/95での インストール

Windows98/95でお使いになる場合は、付属のサポートソフトのインストールが必要です。
ここでは、そのインストール方法について説明します。

本製品をWindows98/95以外で使用する場合は、本章をお読みになる必要はありません。

手順はWindows98とWindows95では異なります。
また、Windows95では、Windows95のバージョンによって異なります（以下の［Windows95のバージョンの確認］参照）ので、それぞれに合った箇所をお読みください。

Windows98の場合 ……25

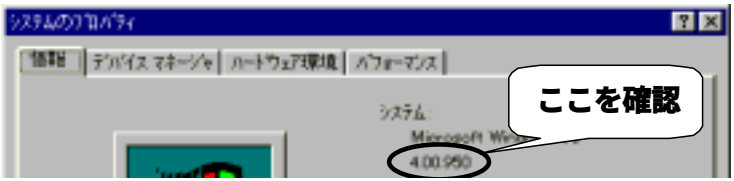
Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合 ……29

Windows95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 ……32

《Windows95のバージョンの確認》

①［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された「プロパティ」をクリックします。

②『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』に表示される番号がWindows95のバージョンです。

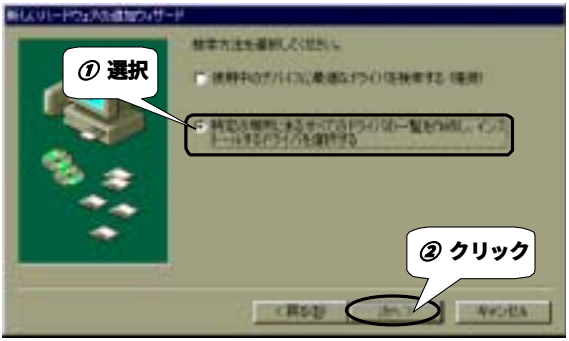


Windows98の場合

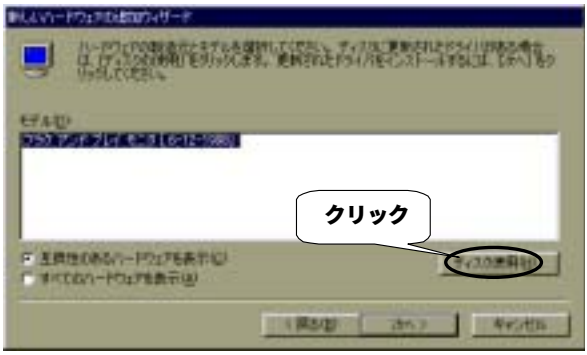
1 Windows98を起動します。

2 Windows98起動中に以下の画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。

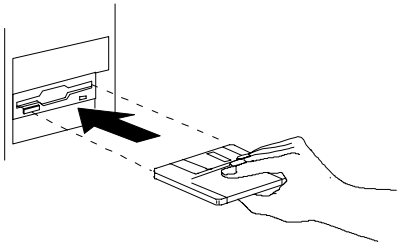
3 [特定の場所にあるすべての……] を選択（クリック）し、続けて
[次へ] をクリックします。



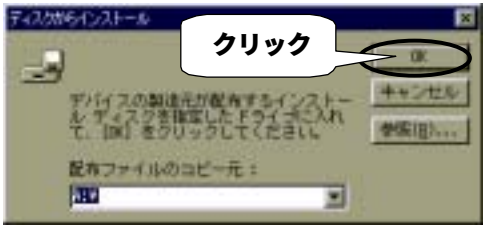
4 ［ディスク使用］をクリックします。



5 「LCD-ADF15Rサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。



6 ［OK］をクリックします。



7 [I-O DATA LCD-ADF15R] と表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

8 [次へ] をクリックします。

9 **[完了]をクリックします。**

以上でWindows98へのインストールは終了です。
[インストール状態の確認] (P35)にお進みください。

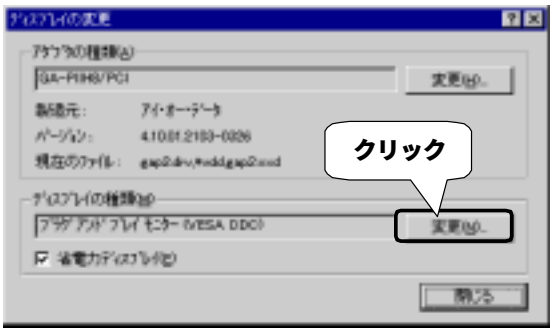
Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合

1 [画面のプロパティ] を起動します。

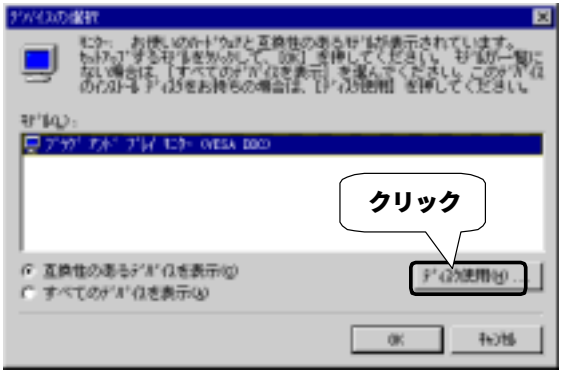
デスクトップ (壁紙など) を右クリックし、表示された [プロパティ] をクリックします。

2 [ディスプレイの詳細] タブ、続けて [ディスプレイの変更] をクリックします。

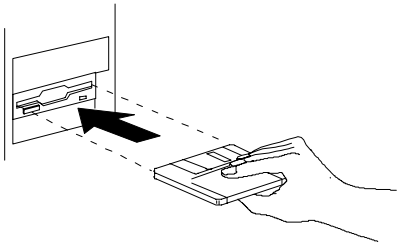
3 「ディスプレイの種類」の [変更] をクリックします。



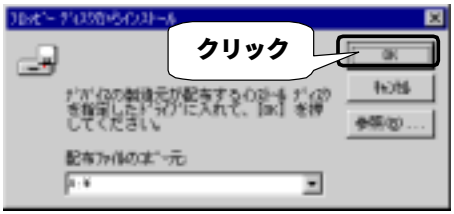
4 [ディスク使用] をクリックします。



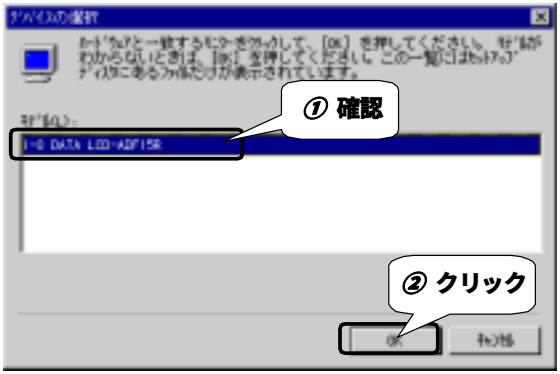
5 「LCD-ADF15Rサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。



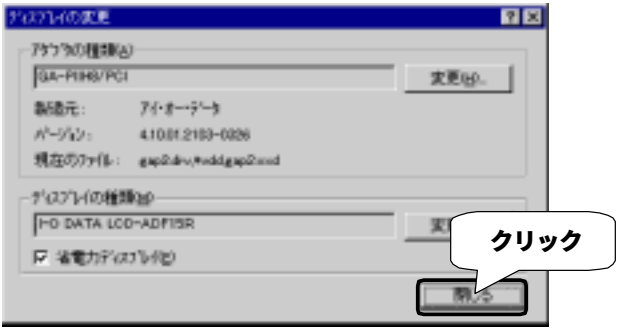
6 [OK] をクリックします。



7 [I-O DATA LCD-ADF15R] を確認し、[OK] をクリックします。



8 [閉じる] をクリックします。



9 あとは画面の指示に従い、[OK] をクリックします。

以上でWindows95 4.00.950/4.00.950aへのインストールは終了です。
[インストール状態の確認] (P35)にお進みください。

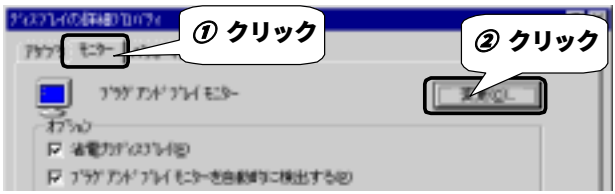
Windows95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

1 [画面のプロパティ] を起動します。

デスクトップ (壁紙など) を右クリックし、表示された [プロパティ] をクリックします。

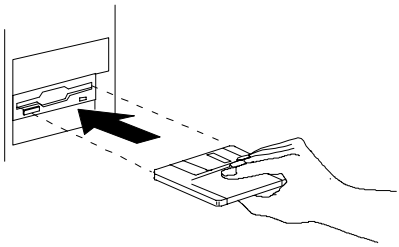
2 [ディスプレイの詳細] タブ、続けて [詳細プロパティ] をクリックします。

3 [モニター] タブ、続けて [変更] をクリックします。



4 ［ディスク使用］をクリックします。

5 「LCD-ADF15Rサポートソフト」をフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクドライブに挿入します。



6 ［OK］ボタンをクリックします。

7 **[I-O DATA LCD-ADF15R] を確認し、[OK] をクリックします。**

8 **あとは画面の指示に従い、[OK] をクリックします。**

以上でWindows95 4.00.950 B/4.00.950 Cへのインストールは終了です。
次ページの「インストール状態の確認」にお進みください。

ステップ2　インストール状態の確認

ここでは［ステップ1］で行ったサポートソフトのインストールが正常かを確認する方法と解像度の変更方法について説明します。

確認方法

1 ［システムのプロパティ］を開きます。

［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された「プロパティ」をクリックします。

2 ［種類別に表示］を選択します。

［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
その後、［種類別に表示］をクリックしします。

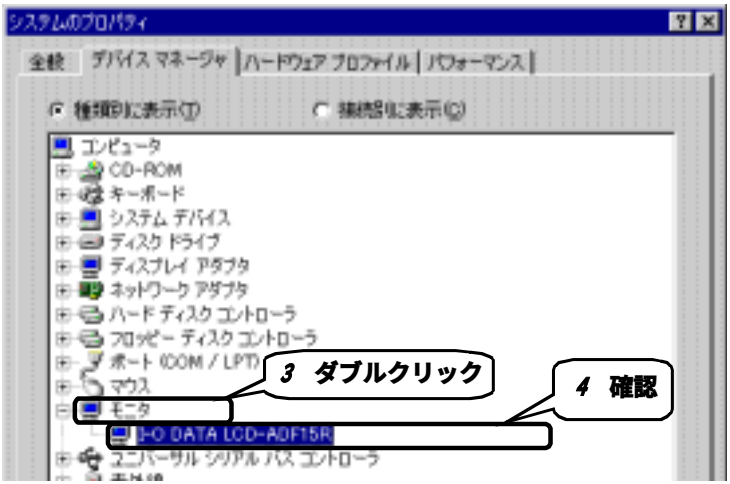
PC98-NXシリーズをお使いで「デバイス　マネージャ」タブが表示されない場合

1.［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。
2.［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。
3.再度手順の ***1*** から行います。

3 ［モニタ］をダブルクリックします。

4 本製品が正常に認識されていることを確認します。

「I-O DATA LCD-ADF15R」と表示されている場合は、正しく認識されています。



正しく表示されていれば正常です。

調整する場合

本製品は、出荷時に標準的な設定になっています。
表示の位置ずれや、画面にノイズがある場合は、必要に応じて設定変更を行ってください。

> デジタル入力の場合、自動調整・ノイズ調整(クロック)・ノイズ調整(フェーズ)・H-ポジション・V-ポジションの調整は不要です。

※設定内容を保存すれば、電源を切っても有効ですので、ご使用のたびに設定する必要はありません。

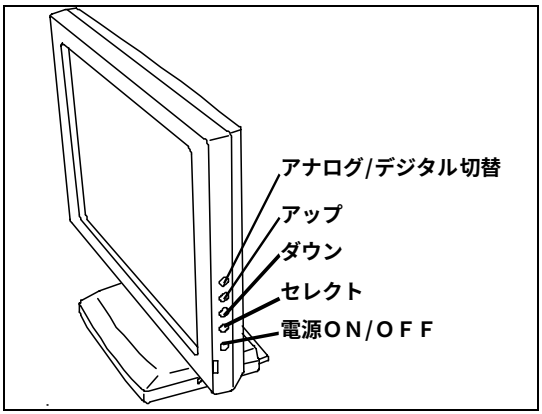
ステップ1

基本操作

設定するボタン

本製品の設定は側面の設定ボタンで「設定メニュー」（OSD画面）を表示して行います。設定ボタンには、[アップ]、[ダウン]、[セレクト]の3つのボタンがあります。

設定ボタン	操作内容
アップ	設定メニュー上では、選択している項目の上の項目に移動します。 設定値の設定バー表示中は、数値を増加させます。 設定メニューが表示されていない場合は、設定メニューのボリューム項目に移動します。
ダウン	設定メニュー上では、選択している項目の下の項目に移動します。 設定値の設定バー表示中は、数値を減少させます。 設定メニューが表示されていない場合は、設定メニューのボリューム項目に移動します。
セレクト	メニュー上では、選択している項目を決定します。 設定値の設定バー表示中は、数値を決定します。 このボタンで設定メニューを表示させます。



＜ボタンの位置＞

設定の基本操作

1 [セレクト]ボタンを押すと、以下の設定項目（メインメニュー）が表示されます。

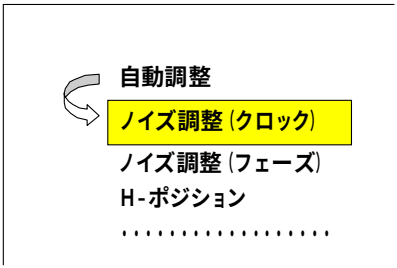
① 自動調整
② ノイズ調整(クロック)
③ ノイズ調整(フェーズ)
④ H-ポジション
⑤ V-ポジション
⑥ カラー
⑦ アドバンス
⑧ ボリューム
⑨ その他
⑩ 終了

※以下は各設定項目の概略です。詳細については、【ステップ2　設定項目の詳細】(P42)を参照してください。

No.	設定項目	設定内容
①	自動調整	レベル、フェーズ、ポジションを自動調整します。自動調整後、確認をしてきます。ここで「いいえ」を選ぶと、手動設定になります。
②	ノイズ調整(クロック)	表示幅の設定を手動（[アップ] または [ダウン] ボタン）で行います。
③	ノイズ調整(フェーズ)	ノイズ除去の設定を手動（[アップ] または [ダウン] ボタン）で行います。
④	H-ポジション	水平方向に画面全体を移動(設定)します。
⑤	V-ポジション	垂直方向に画面全体を移動(設定)します。
⑥	カラー	カラー・明るさを設定します。
⑦	アドバンス	スケール・センタリング・シャープネスを設定します。
⑧	ボリューム	ボリューム設定を手動（[アップ] または [ダウン] ボタン）で行います。
⑨	その他	メニュー画面自体およびその他の設定を行います。
⑩	終了	設定画面を終了します。

2 **[アップ]または[ダウン]ボタンを1回押すごとに、「設定項目」を移動します。**

設定項目の内容の詳細は、[設定項目の詳細] (P42)を参照してください。



3 **[セレクト]ボタンで項目を選択します。**

設定内容を表示します。

サブメニューがある場合は、更に[アップ]または[ダウン]ボタンでメニュー選択後、[セレクト]ボタンで項目を選択すると設定内容を表示します。

4 **設定バーが表示された場合は、[アップ]または[ダウン]ボタンで設定値を設定します。**

5 **設定後、[セレクト]ボタンで確定します。**

6 **設定したいすべての項目を設定後、メインメニューの「終了」を選択し、メニューを終了します。**

[注意]

設定中にボタン操作を中止すると、約10秒後にメニューの表示が消えます。

※メニューが消える時間は、「ＯＳＤタイムアウト」で設定した時間（出荷時10秒）です。

（［サブメニュー：メニュー画面自体およびその他の設定］(P48)参照）

設定した内容は、本製品の電源をOFFにするまで保持されますが、再度電源ONにした時には設定前の設定に戻ります。

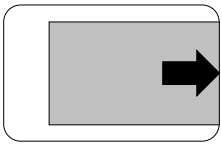
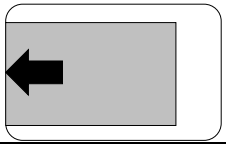
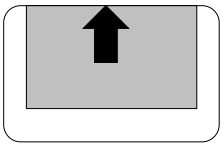
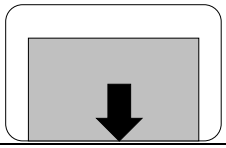
ステップ2

設定項目の詳細

メインメニュー

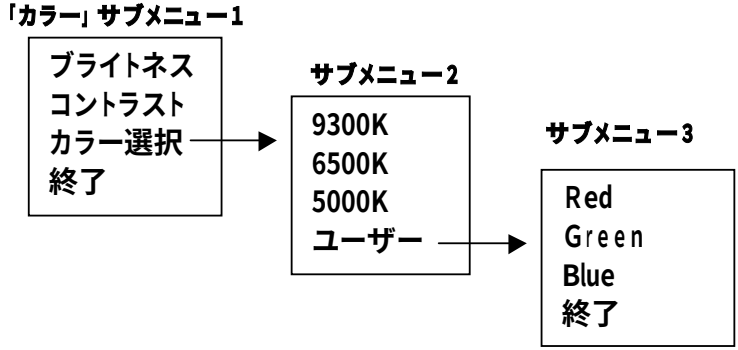
① 自動調整
② ノイズ調整(クロック)
③ ノイズ調整(フェーズ)
④ H-ポジション
⑤ V-ポジション
⑥ カラー
⑦ アドバンス
⑧ ボリューム
⑨ その他
⑩ 終了

No.	設定項目	設定内容
①	自動調整	レベル、フェーズ、ポジションを自動調整します。自動調整後、確認をしてきます。ここで「いいえ」を選ぶと、手動設定になります。
②	ノイズ調整(クロック)	表示幅の設定を手動（[アップ] または [ダウン] ボタン）で設定します。
③	ノイズ調整(フェーズ)	ノイズ除去の設定を [アップ] または [ダウン] ボタンで設定します。

No.	設定項目	設定内容
④	H-ポジション	水平方向に画面全体を移動(設定)します。 [アップ]ボタンで右に移動します。  [ダウン]ボタンで左に移動します。 
⑤	V-ポジション	垂直方向に画面全体を移動(設定)します。 [アップ]ボタンで上に移動します。  [ダウン]ボタンで下に移動します。 
⑥	カラー	カラー・明るさを設定します。 (詳細は［サブメニュー：カラー・明るさの設定］次ページ参照)
⑦	アドバンス	スケール・センタリング・シャープネスを設定します。
⑧	ボリューム	ボリューム設定を［アップ］または［ダウン］ボタンで設定します。
⑨	その他	メニュー画面自体およびその他を設定します。
⑩	終了	設定画面を終了します。

サブメニュー：カラー・明るさの設定

メインメニューから「カラー」を選択すれば、カラー・明るさを設定できます。



＜サブメニュー1＞

ブライトネス	明るさを設定します。 画面の明るさが、[アップ]ボタンで明るく、[ダウン]ボタンで暗くなります。（最小にしておくと、見えにくい場合があります。）
コントラスト	コントラストを設定します。 コントラストの状態が、［アップ］ボタンで強く、［ダウン］ボタンで弱くなります。
カラー選択	カラータイプを選択します。 （サブメニュー2へ）
終了	メインメニューに戻ります。

＜サブメニュー2＞

9300K	色温度を9300Kに設定します。 (少し青みがかった白色に設定します。)
6500K	色温度を6500Kに設定します。 自然光に近い白色に設定します。)
5000K	色温度を5000Kに設定します。 (少し赤みがかった白色に設定します。)
ユーザー	ユーザーカラーに設定します。 (サブメニュー3へ)

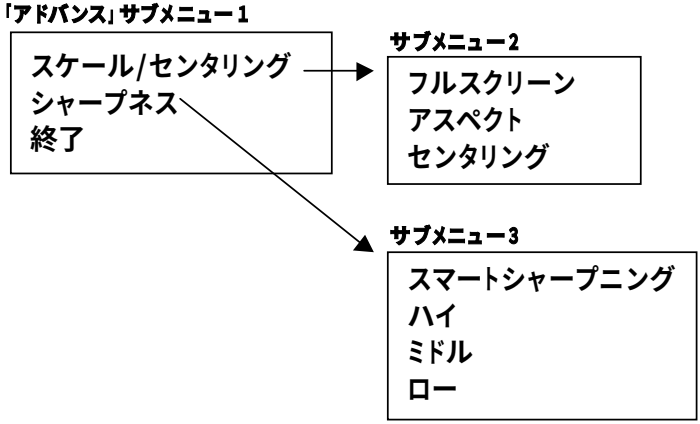
※色温度‥‥ディスプレイの発光する白色の輝度を表わしたもの
(単位:K‥‥ケルビン)

＜サブメニュー3＞

Red	赤の強さを設定します。
Green	緑の強さを設定します。
Blue	青の強さを設定します。
終了	前のメニュー(サブメニュー2)に戻ります。

サブメニュー：
スケール・センタリング・シャープネスの設定

メインメニューから「アドバンス」を選択すれば、スケール・センタリング・シャープネスを設定できます。



＜サブメニュー1＞

スケール/センタリング	スケール/センタリングを設定します。(サブメニュー2へ)
シャープネス	シャープネスを設定します。(サブメニュー3へ)
終了	メインメニューに戻ります。

＜サブメニュー2＞

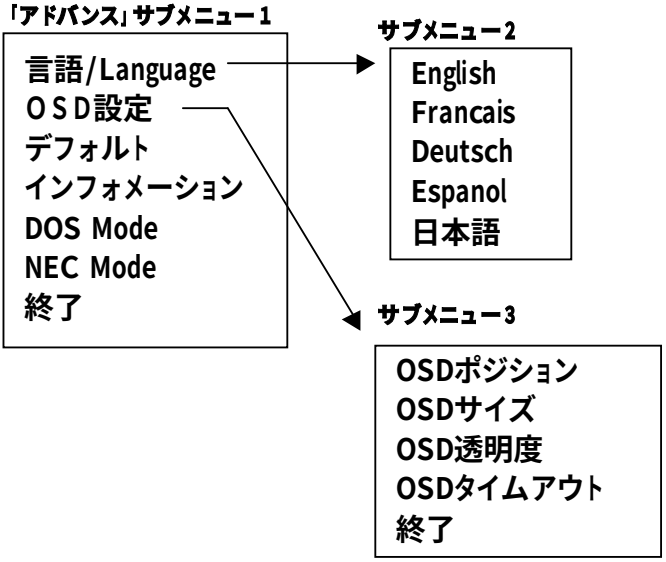
フルスクリーン	液晶パネル全体に拡大(縮小)して表示します。
アスペクト	縦横のどちらかが画面一杯になる様に拡大(縮小)します。 ※縦横の比率が変わることはありません。
センタリング	液晶パネルの中心に、実際のサイズで表示します。

＜サブメニュー3＞

スマートシャープニング	**文字が見やすくなります。**
ハイ	**画面のスムージング処理を強にします。**
ミドル	**画面のスムージング処理を中にします。**
ロー	**画面のスムージング処理を弱にします。**

サブメニュー：
メニュー画面自体およびその他の設定

メインメニューから「その他」を選択すれば、メニュー画面自体およびその他を設定できます。



＜サブメニュー1＞

言語/ Language	本メニュー画面を各種言語で表示します。 (サブメニュー2へ)
ＯＳＤ設定	本メニュー画面の位置やサイズを設定します。 (サブメニュー3へ)
デフォルト	すべての値を初期設定に戻します。 「カラー」「アドバンス→シャープネス」「ボリューム」 「その他→ＯＳＤ設定」がすべて初期設定となります。
インフォメーション	インフォメーションを表示します。
DOS Mode	720×400 (70Hz) と640×400 (70Hz) のどちらを有効にするかを選択します。
NEC Mode	720×350 (70Hz) と640×400 (70Hz) のどちらを有効にするかを選択します。
終了	メインメニューに戻ります。

＜サブメニュー2＞

English	メニュー画面を英語で表示します。
Francais	メニュー画面をフランス語で表示します。
Deutsch	メニュー画面をドイツ語で表示します。
Espanol	メニュー画面をスペイン語で表示します。
日本語	メニュー画面を日本語で表示します。

＜サブメニュー3＞

OSDポジション	メニュー画面の表示位置を設定します。
OSDサイズ	メニュー画面のサイズを設定します。
OSD透明度	メニュー画面の透明度を設定します。 (バックが透けて見えるようにできます。)
OSDタイムアウト	メニュー画面の表示時間を設定します。
終了	サブメニュー1に戻ります。

付　録

困った時には(P51)
本製品を使用中に、トラブルがあったときにご覧ください。

用語解説(P53)
本書内の用語について説明します。

ハードウェア仕様(P56)
本製品の仕様について説明します。

困った時には

電源を入れた直後から画面に何も表示されない

原因１ 液晶ディスプレイの電源が入っていません

本製品の電源が入っているか、また本製品の電源ランプが点灯しているかご確認ください。
赤ランプの場合は、入力信号がきていません。

原因２ 本製品が正しく取り付けられていません

電源を切り、もう一度接続ケーブルとディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

原因３ 磁気を帯びたものが近くにあります

磁気を帯びたものからパソコン本体および本製品を遠ざけてください。

原因４ インターレースには対応しておりません

原因５ コンポジットシンクおよびシンクオングリーン（Macintosh）には対応しておりません

原因６ リフレッシュレート、解像度が対応外です

解像度の調整を行って見てください。

電源を切り、もう一度接続ケーブルとディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

画像が小さい、または歪んでいる

原因１ 本製品が正しく取り付けられていません

電源を切り、もう一度接続ケーブルとディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

原因２ 本製品の解像度の範囲を超えています

解像度の調整を行って見てください。

電源を切り、もう一度接続ケーブルとディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

用語解説

DFP規格

デジタル液晶モニター用のVESAで定められた標準インターフェイス規格。
NEC、富士通、コンパック、日立等（順不同）がパソコン本体および液晶
ディスプレイに採用。（1999年10月20日現在）

DPMS(Display Power Management Signaling)

VESA（Video Electronics Standards Association）が策定した、ディス
プレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、
ディスプレイのHSYNC／VSYNC（水平／垂直走査周波数）を制御することで
Ready、Standby、Suspend、Offの４つの節電レベルを可能とします。

OSD(On Screen Display)

ディスプレイ上の一部に、ディスプレイの設定を行うメニューを表示する機能。
本製品では、輝度やコントラストなど各種の設定をすることができます。
（詳細は、【調整する場合】(P37)参照）

TFT(Thin Film Transfer liquid crystal)

アクティブ･マトリックス型液晶の一種。
液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。現状、他の
液晶技術（STN,DSTN等）に比べ、品質面では最も優れています。

TMDS（Transition Minimized Diferential Signaling)

Silicon Image社が開発したPanelLink Technologyに基づいたホストPCと
デジタルモニターとの間の画像データのインターフェイスに関する規格です。

インタレース表示

まず、画面の左上から奇数ラインだけを走査し、再び左上に戻り、今度は偶数ラインを走査するという走査方式です。
1画面表示するのに電子ビームが2回走査する必要があります。この走査方式は、走査周波数が低いのでディスプレイの種類により画面がちらつく場合があります。チラツキは垂直解像度が高くなれば、よけいに目立ちますので、チラツキが多い場合は解像度を低くするか、ノンインタレースフリッカーフリー表示かノンインタレース表示を選びます。

走査線周波数

ディスプレイはドットの集まりです。ディスプレイは左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり画像が表示されるという意味です。
走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。走査周波数を低くすると画面のちらつきが目立つようになります。逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。

デジタル入出力

デジタルデータをコンピュータから入力したり、出力したりすること。
本製品は、ビデオメモリのデジタルデータを、D/A及びA/Dコンバータを通さずダイレクトにディスプレイ表示していますので、データの劣化がほとんどありません。

ドット

文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。
パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。

ドット抜け

TFTパネル等平面パネルは、非常に高度な技術を使用していますが、生産過程の諸条件により液晶格子の一部が上手く形成されない場合があります。現在の技術は99.99%以上の精度で液晶格子が形成されています。すべて完全な液晶格子を形成することは現在の技術水準でも難しいのが現状です。

ノンインタレース表示

画面の左上から右下まで1ラインごとに全ラインを1度に走査する走査方式です。1画面表示するのに1回の走査ですむ代わり、電子ビームを速く動かす必要があります。そのため、インタレース表示より高い周波数が必要になりますが、インタレース表示よりはチラツキが少なくなります。

フリッカー

画面のチラツキをいいます。画面上のあるドットを光らせたとします。次にそのドットを光らせるまで光っていてほしいのに、その光が消えてしまったとします。すると、「光らせる→光らせる＝ずっと光っている」となるところが、「光らせる→消える→光らせる」となり、点滅したような状態になります。この点滅が、人間の目から見るとちらついている、つまりフリッカーが発生しているということになります。

ハードウェア仕様

液晶ﾊﾟﾈﾙﾀｲﾌﾟ	15インチTFT※1
ﾊﾟﾜｰﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ	VESA DPMS互換
最大解像度	1024 x 768(XGA)
ピクセルクロック	65MHz
水平走査周波数	48KHz
垂直走査周波数	60Hz
ドットピッチ	0.297mm(水平) x 0.297mm(垂直)
表示色	最大1,619万色※2
可視角度	水平方向: ±80°、垂直方向: ±80°
傾斜	+20°,-5°
コントラスト比	300:1
輝度（最大）	250cd/㎡
応答速度	25ms
表示画面サイズ	304.1mm(水平) x 228.1mm(垂直)
入力端子	アナログ…15ピン（D-subコネクタ） デジタル…20ピン（MDRコネクタ）
寸法(幅x奥行x高さ)	400 × 170 × 370mm
使用温度条件	動作時: 0℃～+35℃、収納時:-20℃～+60℃
使用湿度条件	20%～80%（結露なきこと）
重さ	4.7kg(液晶ディスプレイのみの場合)
消費電力	最大47W
電源	DC 19V （付属のACアダプタより供給）

※1 液晶ディスプレイ上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合がありますが、故障あるいは不良ではありません。ご了承ください。

※2 ディザリング使用。

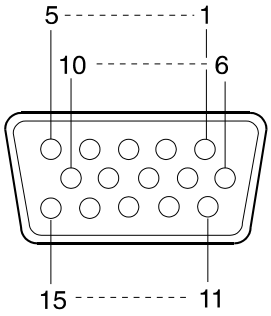
●対応信号タイミング

表示モード		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	LCD-ADF15R アナログ	LCD-ADF15R デジタル
Windows	640×400	24.8	56.4	○	―
		37.9	85.1	○	―
	640×480	31.5	59.9	○	○
		37.9	72.8	○	―
		37.5	75.0	○	―
		43.3	85.0	○	―
	800×600	35.2	56.3	○	―
		37.9	60.3	○	○
		48.1	72.2	○	―
		46.9	75.0	○	―
		53.7	85.1	○	―
	1024×768	48.4	60.0	○	○
		56.5	70.1	○	―
		60.0	75.0	○	―
	1152×864	54.3	60.0	○*1	―
	1280×1024	64.0	60.0	○*1	―
英語テキストモード	720×400	31.5	70.1	○	―
Power Macintosh	640×480	35.0	66.7	○*2	―
	832×624	49.7	74.5	○*2	―
	1024×768	48.8	60.0	○*2	―
		60.2	74.9	○*2	―

※ パソコンからの信号は、すべてノンインタレースであること。
※ DB-15型コネクタ搭載のPower Macintoshシリーズでご使用の場合は、別途市販のMacintosh用接続変換コネクタが必要になります。
※ 表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。

*1：ダウンスケーリング処理を行います。このため、特に文字表示において見にくいことがあります。
*2：コンポジットシンク及びシンクオングリーンには対応していません。

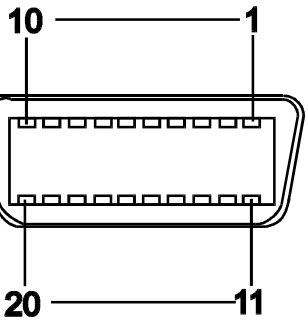
●アナログコネクタ形状･ピンアサイン



D-sub15ピンコネクタ

ピン番号	内容
1	赤映像信号入力
2	緑映像信号入力
3	青映像信号入力
4	N.C
5	GND
6	赤映像信号用GND
7	緑映像信号用GND
8	青映像信号用GND
9	N.C.
10	同期信号用GND
11	N.C
12	DDCシリアルデータ
13	水平同期信号用入力
14	垂直同期信号用入力
15	DDCシリアルクロック

●デジタルコネクタ形状･ピンアサイン



20ピンコネクタ

端子番号	記号	内容
1	TOUT1+	TMDSデータG (+)
2	TOUT1-	TMDSデータG (-)
3	TOUT1 SHIELD	TMDSシールド
4	TCLK SHIELD	TMDSシールド
5	TCLK+	TMDSクロック (+)
6	TCLK-	TMDSクロック (-)
7	GND	電源用GND
8	+5V DC	電源+5V
9	Reserve	未接続
10	Reserve	未接続
11	TOUT2+	TMDSデータR (+)
12	TOUT2-	TMDSデータR (-)
13	TOUT2 SHIELD	TMDSシールド
14	TOUT0 SHIELD	TMDSシールド
15	TOUT0+	TMDSデータB (+)
16	TOUT0-	TMDSデータB (-)
17	Reserve	未接続
18	SENSE	接続検出信号
19	SDA	DDCシリアルデータ
20	SCL	DDCシリアルクロック

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。
以下に記入して、お問い合わせのときにお知らせください。
連絡方法については次ページをご覧ください。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

《連絡方法》

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。

NIFTY SERVE　アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区7　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-ADF15R」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間　9:30〜17:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-ADF15R」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY SERVE　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ4(LIB 4)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-ADF15R」 バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

保証について

◎ 保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎ 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましたは、故障症状確認の際にすべて消去されます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

  住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
  株式会社アイ・オー・データ機器
  「LCD-ADF15R」 修理係 宛

  ※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

  電話番号 金沢 076-260-3663
  受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
  月～金曜日（祝祭日を除く）

  ※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

LCD-ADF15R 取扱説明書
1999.Oct.18　44505-01
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1999 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

Verシール

ここにVerシールをお貼りください。